

自動走行車による解決可能な行政課題について

- 実証エリアにおいて、自動走行車を活用することにより解決できる行政課題についてご記入ください。
- 交通不便地対策、高齢者対策など複数テーマがある場合は、それぞれご記入ください。

市町村名 長久手市

テーマ リニモ利用者数増、観光交流への推進、公共交通への転換

【現状】

長久手市の東に位置する愛・地球博記念公園は年間約160万人の来場者があるものの、来場者のほとんどは長久手市を通過するのみとなっている。

また、愛・地球博記念公園への移動手段として、時間的、金銭的面から車での来場者がほとんどであり、万博開催に合わせて建設されたリニモへの交通手段の転換が十分されていない。

【課題】

- 1 モリコロパーク来場者の移動手段を車から公共交通機関への転換
- 2 長久手温泉 ござらっせ利用者減少への対応と産地直売施設 あぐりん村の集客力強化。
- 3 長久手市の観光交流の推進（平成28年1月4日 観光協会設立）
- 4 上記1～3を解決するためのリニモを含めた移動手段の連携

【対応】

車から公共交通機関への転換を図るとともに、長久手に立ち寄り、長久手を知り、体験してもらうようリニモと自動走行車を組み合わせた活用を図り、課題の解決を図るきっかけとしたい。

【効果】

- 1 リニモの利用促進とカ石名古屋線の渋滞の緩和
- 2 長久手温泉の利用者の増加とあぐりん村の集客アップ
- 3 長久手温泉及びあぐりん村に長久手観光の発信地を設け、PRを行う。
- 4 藤が丘→リニモ→愛・地球博記念公園→自動走行車→長久手温泉→シャトルバス→藤が丘のルートを設定するなどして、交通手段も単なる移動手段ではなく、イベントの一環として取り組み、公共交通への転換を図る。

自動走行車の実験走行ルートについて（複数ルート提示も可）

1 区間

モリコロパーク→あぐりん村・ござらっせ

2 地理条件

バスルート無

平成25年愛知県観光レクリエーション利用者統計

モリコロパーク利用者数 1, 567, 399人

あぐりん村 449, 928人

長久手温泉ござらっせ 417, 895人

3 道路条件

①走行ルート モリコロパーク→あぐりん村・ござらっせ 2.9km

②白線が明確に引かれている

③片道1車線以上

④歩車が分離されている

⑤走行ルートに対して横から流入する車が少ない

⑥トンネル区間がない

4 その他

①関係者（警察、バス・タクシー会社、商業施設、病院など）との調整に協力できること

②待機場所の確保 モリコロパーク

5 走行ルート（地図）



6 写真（下記のを添付してください。Google ストリートビューも可）

(1) 実験車両待機場所



(2)道路の様子 (1～2カ所)



愛・地球博記念公園西口



公園西駅近く

(3) 出発地、到着地（スーパー、病院など）



モリコロパーク



あぐりん村・ござらっせ